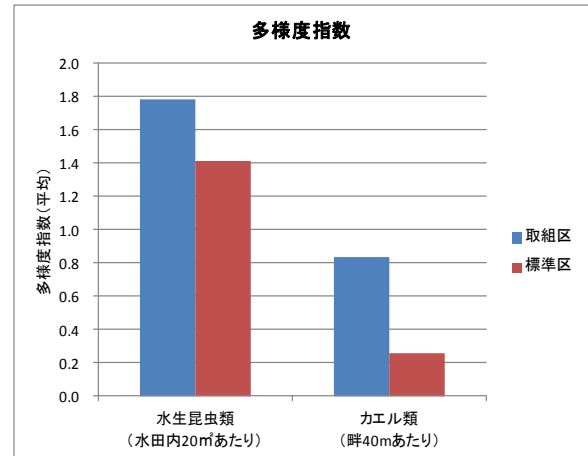
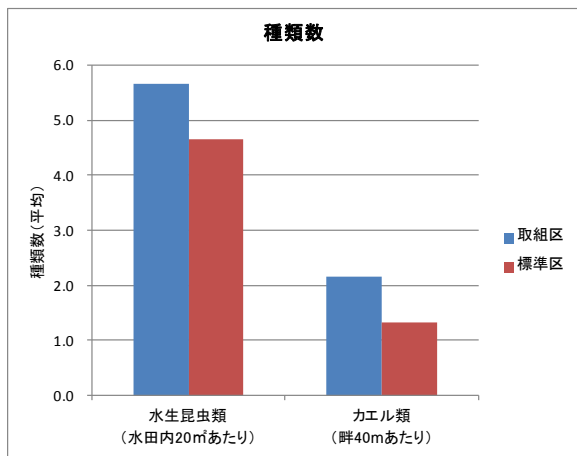


# 総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた魚毒性の低い 除草剤 1 回と畦畔機械除草 3 回以上

## 取組区と標準区の比較

調査地点数: 6地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m <sup>2</sup> あたり)	5.7	4.7	28.8	41.5	1.79	1.41
カエル類(畔40mあたり)	2.2	1.3	8.3	3.5	0.83	0.26

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



取組区の水田（池田町）

総合的病害虫・雑草管理（IPM）と組み合わせた魚毒性の低い除草剤 1 回と畦畔機械除草 3 回以上の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類、カエル類ともに種類数について、取組区のほうが多くなる傾向が認められた。

また、多様度指数については水生昆虫類、カエル類ともに取組区のほうが高い結果となった。



取組区の水田で確認されたヒメアメンボ



多く確認された水生昆虫類（コミズムシ）